

看護職員 募集案内

募集職種

看護師 **66**名程度
助産師 **4**名程度



1年目 B病棟3階(産科・婦人科)



私は助産師として産婦人科病棟で勤務しています。この1年でお産に携わったり、産後の育児支援を行ったり様々なことを経験しました。当院は総合周産期母子医療センターであるため、ハイリスク妊娠・分娩が多く、入院中の管理はもちろんですが、精神的援助についても学ぶことの多い毎日です。また婦人科

を含む混合病棟のため、手術や化学療法に関する看護を学ぶこともできました。

大変なことも多いですが、先輩や同期に助けてもらい楽しく働くことができている。患者さんや家族にとって安心してもらえる助産師になれるよう成長していきたいです。

1年目 C病棟6階(小児センター病棟)



私は、小児科で看護師として働いています。小児看護学実習での経験から、受け持ち患児とその家族との関わりの中で、病気や怪我と闘う子どもたちを看護師の立場としてサポートしていきたいと思い、小児科を志しました。当院は、県内唯一の特定機能病院であり、院内研修が充実しており、クリニカルスキルアップセ

ンターも整備されているため、不安のある基礎看護技術や経験の少ない技術などを実践的な演習で身につけることができるという魅力があります。知識や技術は未熟ですが、患者さんやご家族の声を聴き、一人ひとりに寄り添った看護を提供できるよう日々成長していきたいです。

C病棟7階(脳神経外科)



2023年5月に第二子が誕生しました。産後の妻に代わり家事・育児の全般を担うべく1ヶ月間の「産後パパ育休」取得を希望しました。職場の理解が大きく、快く育休に送り出されたことに大変感謝しています。育休を経験し自身の価値観も変化しました。この経験を患者さんへの質の高い看護提供に還元し

ていきたいと思っています。大学病院にはこのように仕事と家庭が両立できる働きやすい職場風土があります。一緒に働ける時を楽しみにしています。

手術部



私は、手術部、高度外傷センターで手術看護を実施しています。

当院はハイブリッド ER という診察や救命処置、CT検査、手術、血管造影を移動せずに行う画期的な外傷診療システムを導入しています。このシステムにより患者さんが移動することなく治療が完結できます。

私たち看護師は迅速な治療完結に向けてチーム医療を実践しており、チームには救命看護師だけではなく手術部看護師も協力して活動しています。また急な事故などで搬送された患者さん、ご家族に様々な部署の看護師が協力して関わりよりよい社会復帰を目指しています。

ICU(集中治療部)



私たちは看護理念に基づき、質の高い専門性のある看護の提供のために様々な研修や課題に取り組み、日々スキルアップを目指しています。新人研修では、看護の基盤づくりとしてコミュニケーションや院内のスキルアップセンターと連携し、看護技術の習得など1年を通し計画的に研修が行われます。また2

年目以降もラダーに沿ってそれぞれが実地指導者やリーダー研修などに参加しています。これらの研修が充実していたため、少しずつできることが増える場があったことはとても安心できました。また研修では同期とも会え、他部署で頑張っている同期に刺激を受けたり、励みになっています。

E-ICU(救命救急センター病棟・外来)



災害看護専門看護師

私は、DMAT(Disaster Medical Assistance Team)の一員として災害支援活動に従事してきました。

そのような経験の中で自分自身の知識や技術の無さを痛感し災害看護専門看護師資格を取得しました。災害はいつでも発生するかわかりません。多くの知識や技術等の備えが大切です。また災害看護は特別な事ではなく、

日々の看護そのものが生かされます。

平時から患者さんへの基本的な看護を大切に、災害時に対応できるように組織の災害意識を醸成する活動を行っています。



新人研修で培う看護の基盤。実践的な研修を通してあなたの成長を支援！

新人研修
 卒後一年目は
看護の基盤づくり

▼

看護技術の実践

コミュニケーション
 ●人間関係の構築 ●職場環境への適応促進

臨床看護への不安の軽減



島根大学医学部附属病院の理念 「地域医療と先進医療が調和する大学病院」
 看護部の理念 「地域に信頼される質の高い看護を提供します」

共に学び、共に成長できる仲間を募集しています！

看護部 看護部長 かわかみ としえ 川上 利枝

当院は、県内唯一の特定機能病院として先進医療の提供とともに、地域医療へ貢献するため多職種連携による医療チームで協働し、最善の医療の提供を目指しています。看護部では、看護の専門性を発揮し、患者さん、ご家族のニーズを把握しながら入院前、入院中から退院後の生活を見据えた在宅療養支援への取り組み等、安全、安心で質の高い看護の提供に取り組んでいます。

主体的な継続学習と臨床の看護実践を通しての学びを基盤として、卒後臨床研修センターと看護教育支援室が協働しながら新人教育やキャリアアップの支援を行っており、当院ならではの多様な教育環境が整っています。

一人ひとりがやりがいを持ち、動き続けられる職場づくりを目指しており、入職後5年目の定着率は高く、全国42大学中第2位(令和5年4月1日時点)です。

看護のプロフェッショナルとして、共に学び、共に成長し、患者さんに最高のケアを提供しましょう。

島根大学医学部附属病院の「看護提供体制」は PNS[®]で行っています。

PNS[®] Partnership Nursing System
 (パートナーシップ・ナーシング・システム)

年間のパートナーや日々のペアとなった看護師が、双方の受け持ち患者に関するすべての事柄を確認し、情報交換を行いながら二人三脚で看護を提供する方式です。

